

産婦人科後期臨床研修プログラム

伊勢原協同病院産婦人科では、初期臨床研修を終了しこれから産婦人科医を志す方の研修希望に応じています。当院は地域医療の要となっている総合病院で、疾患の多彩さと症例数に恵まれており、臨床経験を通して医学知識と医療技術を習得する上では最適の環境です。また日本産科婦人科学会の卒後研修指導施設でもあり、当科で3年間の後期研修を終了すると日本産科婦人科学会専門医の受験資格が与えられます。

特徴

地域医療の中心となっている中規模（413床）の総合病院の中の一科（52床）です。他科はもとより検査室、薬剤部などとの連携もスムーズで、患者さま本位の医療が実践できる環境です。

産婦人科の主たる領域である周産期医療、不妊治療、腫瘍管理の全てに力を入れています。

日本産科婦人科学会専門医卒後研修指導施設です。専門医4名が指導にあたります。

希望により、他科へローテーションも可能です。

他の専門施設への研修、ローテーションの希望にも応じます。

施設基準など

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設

日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会登録施設

「体外受精・胚移植およびGIFTの臨床実施に関する登録」登録施設

「ヒト胚移植および卵の凍結保存と移植に関する登録」登録施設

日本さい帯血バンクネットワーク臍帯血採取協力施設

婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構登録参加認定施設

診療内容（2004年度データ）

外来件数 97.1人/日

入院件数 35.6人/日

分娩件数 497件

手術件数 477件

体外受精 27件（凍結融解胚移植も含む）

スタッフ

担当医師	役職	大学・卒業年	専門医・認定医など	所属学会など
山内 格	産婦人科部長	杏林大学 昭和 52 年卒業	日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医 日本癌治療学会臨床試験登録医 医学博士	日本産科婦人科学科 日本癌治療学会
武者 晃永	産婦人科副部長	杏林大学 昭和 57 年卒業 杏林大学大学院 平成元年卒業	日本産科婦人科学会専門医 日本臨床細胞学会細胞診指導医 母体保護法指定医 医学博士	日本産科婦人科学会 日本癌治療学会 日本婦人科腫瘍学会 日本臨床細胞学会 日本性感染症学会 日本エイズ学会
飯塚 義浩	産婦人科医長	埼玉医科大学 昭和 59 年卒業	日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医 日本医師会認定産業医 介護支援専門員 医学博士	日本産科婦人科学会 日本癌治療学会 日本婦人科腫瘍学会 日本臨床細胞学会
生方 良延	産婦人科医長	杏林大学 昭和 61 年卒業 杏林大学大学院 平成 4 年卒業	日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医 医学博士	日本産科婦人科学会 日本不妊学会 日本受精着床学会 日本東洋医学会

指導内容

初期臨床研修修了者が産婦人科医として1人立ちできるよう育成指導します。
日本産科婦人科学会認定専門医を取得できます。

研修期間

3年間

研修の内容

指導医の下、主治医の一人として患者の治療管理にあたります。

関連施設

杏林大学 産婦人科学教室
ウィメンズクリニック神野
ソフィアレディースクリニック
やはたウィメンズクリニック

処遇

当院の医師規定によります。